ご使用になる前に

デジタル小電力コミュニティ無線機
（総務省技術基準適合品）
TOKUDER　方式

DJ−PV1D

簡易取扱説明書

本書は本製品を使用するために必要最低限の操作についてご説明しています。
詳細な説明書は弊社HPに掲載しています。

アルインコデジタルトランシーバーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させるためには、この取扱説明書を最後までお読みいただくようお願いいたします。アフターサービスなどについても記載していますので、この取扱説明書は必ず保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください

本機は日本国内専用モデルです。海外では規格と電波行政の違いからお使いになれません。
This product is intended for use only in Japan.

全ての機能をカスタマイズ設定してお使いになるには、弊社ホームページにある取扱説明書(PDFマニュアル)をご覧いただく必要があります。右記のQRコードがリンクしています。https://www.alinco.co.jp/　>電子事業部>ダウンロード>特定小電力など免許資格不要無線機

アルインコ株式会社　電子事業部

東京支店　〒103-0027　東京都中央区日本橋2丁目3番4号　日本橋プラザビル14階　TEL.03-3278-5888
名古屋支店　〒460-0002　名古屋市中区丸の内1丁目10番19号　サンエイビル4階　TEL.052-212-0541
大阪支店　〒541-0043　大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号　淀屋橋ダイビル13階　TEL.06-7636-2361
福岡営業所　〒812-0013　福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号　エコービル2階　TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイアル　0120　0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります
受付時間/10：00～17：00月曜～金曜（祝祭日および12：00～13：00は除きます）
ホームページ　https://www.alinco.co.jp/　>事業案内>電子事業部　をご覧ください。
製品のカタログは無償で郵送します。弊社HPのお問い合わせフォーム、または最寄りの営業拠点にお電話でご依頼ください。

PS0965
FNEM-NL

アフターサービスについて

◎ **保証と保証書**
修理やメンテナンスなど、保証の詳細は販売店様との間の契約が優先されますのでご購入時によくご確認ください。弊社の製品保証の内容は弊社発行の保証書に記載されています。保証書には購入店名、購入日の記入（または専用ステッカー貼付など）と、記載の製造番号に間違いがないかをお確かめの上、本書と一緒に大切に保管してください。
記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類を一緒に保存してください。購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。

◎ **保証期間が過ぎたら**
お買い上げいただいた販売店へご相談ください

◎ **製造終了製品に対する保守年限に関して**
弊社では製造終了後も下記の期間、製品をお使い頂けるように最低限必要な補修用部品を常備しています。ただし、不測・不可抗力の事態により在庫部品に異常が発生したような場合はアフターサービスをご提供できなくなることもありますので、あらかじめご了承ください。

補修部品の保有期間は、生産終了後5年です。

◎ **注意事項**
- 改造、分解されたり銘板やラベル類が剥がされた製品は、修理をお断りすることがあります。
- 修理見積や保険用の証明書の発行は、一部有償です。
- 本製品には明確に定められた製品寿命はありません。

ソフトウェアについて(UT-PV1D/GP-PV1D)

本製品では、弊社ホームページから無償でダウンロードできる下記のソフトウェアをご用意しています。
UT-PV1D：個人やグループの名称を編集できるソフトウェアです。
GP-PV1D：位置情報を地図上に表示できるソフトウェアです。
※使用方法は、弊社ホームページに掲載のUT-PV1D、またはGP-PV1Dの取扱説明書（PDFファイル）をご覧ください。

安全上のご注意

◎ 本製品を正しく安全にお使いいただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。使用者や周囲の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、**次の内容をよく理解してから本文をお読みください。**

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

*重傷とは、けが、やけど、感電、骨折などの傷害で入院や長期通院をしたり、後遺症が残ったりするものを指します。
*傷害とは、治療に入院や長期通院の必要がないやけど、けが、感電などを指します。
*物的損害とは、家屋、財産、家畜およびペットなどにかかわる拡大損害を指します。

免責事項について

・天災や人災および弊社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とはことなる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
・本製品の故障、誤動作、不具合、または停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた純粋経済損害、また人命救助などを目的とした通信に本製品を使用し、通信の途絶、故障や誤動作、電池の消耗などにより人命に関わる事態が生じても、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
・弊社が関与していない接続機器やソフトウエアとの組合わせによる誤動作などから生じた損害は、一切の責任を負いません。

■ 共通(無線機本体/バッテリーパック/充電器/ACアダプター)

⚠危険

◎ **引火性ガスが発生する場所では使用しないでください。**
爆発、火災、感電、故障の原因になります。本製品は防爆仕様ではありません。

⚠警告

◎ **雷鳴が聞こえたときには、落雷のおそれがありますので、無線機、充電器、ACアダプターには触れないでください。**
感電の原因になります。
◎ **分解、改造しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。
◎ **次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。**
- 指定以外のACアダプターを接続しないでください。
- 指定以外のバッテリーパックを充電しないでください。
- 指定以外の充電器を使用しないでください。

◎ **万一、発煙、異臭、異音などの異常がある場合は、使用しないでください。**
継続してお使いになると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに電源を切り、バッテリーパックを取り外し、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜き、煙が出なくなったことを確認してから、お買い上げの販売店、または、弊社サービスセンターにご連絡ください。

⚠注意

◎ **直射日光の当たる場所や炎天下の車内、空調機器の吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。**
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
◎ **ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。**
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。
◎ **小さいお子様やペットの手が届かない場所で使用、保管してください。**
感電やけがの原因になります。

■ 無線機本体

⚠警告

◎ **電子機器の近く、特に医療・介護関連施設内では絶対に使用しないでください。**
電波障害により機器が誤動作すると、人命にかかわります。そのような施設内では電源を切ってください。
◎ **自動車の車内で使用すると、電波障害により車載電子機器が誤動作することがあります。安全な場所で誤動作しないことをご確認の上、ご使用ください（特に自動操縦・ブレーキのような安全にかかわる装置が正常に動作することをご確認ください）。**
交通事故の原因となります。
◎ **空港、鉄道、港湾、放送局、中継局など電波を使用する施設での使用については、各施設管理者に事前に問い合わせ、承認を得てからご使用ください。**
電波障害による機器の誤動作が重大な事故や妨害の原因となります。

⚠注意

◎ **大きな音量でイヤホンやヘッドホンなどを使用しないでください。**
大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因になります。
◎ **アンテナを折り曲げたり、ねじったりしないでください。**
破損したアンテナで肌を傷つけたり、やけどをしたりすることがあります。
◎ **無線機をズボンなどのポケットに入れたまま、椅子などに座らないでください。**
無理な力が加わり、表示部やバッテリーパックなどが破損し発火、発熱、けがの原因となります。
◎ **本製品の定格温度を必ず守ってご使用ください。**
定格外の温度範囲などで使用した場合、故障の原因となることがあります。

■ 充電器

⚠警告

◎ **充電器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。また、水にぬれたときは使用しないでください。**
火災、発熱、感電、やけどの原因となります。
◎ **充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。**
火災、発熱、感電、けが、故障の原因となります。

⚠注意

◎ **次の事項を守らないと、火災、液漏れ、発熱、感電、故障、充電不良の原因になります。**
- 0℃～40℃以外の環境で充電しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所で使用しないでください。
- 充電後や充電しないときは、ACアダプター（または、電源コード）をコンセントから抜いてください。
- 指定以外の電圧で使用しないでください。
- 水のかかるところ（調理台のそばなど）では使用しないでください。

■ ACアダプター

⚠警告

◎ **ぬれた手で電源プラグに絶対に触れないでください。**
感電の原因になります。
◎ **ACアダプターや接続ケーブルにキズがある場合（芯線の露出、断線など）や、ACコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。**
火災、感電、故障、データの消失、破損の原因となります。
◎ **コード類を加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、コード類の上には重いものを載せないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。
◎ **ACアダプターを抜き差しするときは、電源コードを引っ張らないでください。**
火災、感電、やけどの原因となります。

⚠注意

◎ **次の事項を守らないと、火災、液漏れ、発熱、感電、故障の原因になります。**
- 0℃～40℃以外の環境で使用しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所で使用しないでください。
- 接続機器を使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 指定以外の電圧で使用しないでください。
- ACアダプターをタコ足配線状態に接続して使用しないでください。

■ バッテリーパック

⚠危険

◎ **火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温になる場所での使用、充電、放置は絶対にしないでください。**
バッテリーパックの性能や寿命が低下、保護回路が動作して充電できなくなったり、保護回路が破損したりして破裂、発煙、発火や火災、液漏れ、やけどの原因になります。

⚠警告

◎ **指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、直ちに充電を中止してください。**
充電をつづけると、発煙や発火を起こす危険性があります。
◎ **コンクリートなどの固い床に落としたり、強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。**
外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があり、その状態で使用をつづけると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
◎ **無線機本体の電源を入れた状態で、指定時間以上充電をしないでください。**
繰り返し行うことにより、発煙や発火の原因となります。
◎ **購入時に比べ運用時間が極端に短くなったとき、バッテリーパックは寿命です。**
使用をつづけると、発煙や発火の原因となります。
◎ **使用中や充電中に、いつもより発熱するなど異常と感じたときは、ご使用を中止してください。**
使用を続けると、バッテリーパックの破裂、発熱、液漏れ、故障の原因となります。
◎ **満充電になった直後に再充電をしないでください。**
繰り返し行うと過充電となり、バッテリーパックの破裂、発熱、液漏れ、劣化の原因となります。

⚠注意

◎ **次の項目を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発煙、液漏れ、感電、やけどの原因になります。**
- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- 水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
- バッテリーパックの端子に半田付けをしたり、端子間を金属類で接続したりしないでください。
- 金属類（針金、ネックレス、鍵など）や導電性のあるものをバッテリーパックの上に放置したり、バッテリーパックと一緒に持ち運んだりしないでください。
- バッテリーパックから漏れ出した液が目に入ったときは、こすらないでください。失明のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流したあと、直ちに医師の治療を受けてください。

◎ **次の注意事項を守らないと、破裂、発熱、液漏れ、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。**
- バッテリーパックを満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。長期間バッテリーパックを保管する場合は、バッテリーパックを完全に使い切った状態から1時間程度充電した後、保管してください。バッテリーパックが無線機本体から取り出せる製品については、取り外してください。
- 無線機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。

バッテリーパックの特性と寿命について
◎ バッテリーパックは消耗品です。充電回数は、300回～500回が目安です。
充電状況を定期的に確認してください。いつもより発熱しているなどバッテリーパックに異常があると思われたときは、使用を中止してください
◎ 使用せずに保管している状態でも、劣化が進行します。
劣化がはじまると、満充電状態からでも運用時間が短くなります。
◎ 劣化したバッテリーパックは発火や火災の原因となることがありますので、使用しないでください。
◎ 充電が完了しても運用時間が極端に短くなったときは寿命です。
無線機の性能を十分に活用するためにも、長くても5年以内の交換をおすすめします。

電池のリサイクルについて

- この製品は、充電電池を使用しています。
- 充電電池は、リサイクルできる大切な資源です。
希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、廃棄しないでください。
- 端子部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、リチウムイオン電池リサイクル協力店へご持参ください。

※充電電池のリサイクルおよび、リサイクル協力店については、一般社団法人JBRCホームページ https://www.jbrc.com/ をご確認ください。

電磁ノイズについて

インバーター回路を内蔵している電子機器およびハイブリッドカー、電気自動車の車内や周辺では電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。
◎インバーターを搭載する代表的な機器
●LED照明機器　●電磁調理器　●給湯器　●自動車の電子機器　●太陽光発電装置

電波法上のご注意

◎ 本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明（工事設計認証）を受けた製品です。分解しないでください。改造して使うと罰せられます。
◎ 本製品はアンテナを含めて技術基準適合証明（工事設計認証）を受けています。このため接続できるアンテナも、技術基準適合証明（工事設計認証）を受けた市販のものに限定されます。同梱の「DJ-PV1D用アンテナについて」をご参照ください。技適を受けていないアンテナを使用すると、電波法違反で罰せられます。この規格の無線機に2.14dBiを超える利得のアンテナを接続することは認められていません。
◎ 他人の通信を妨害したり、通話の内容を無断で漏らしたり、勝手に利用したりすることは電波法で禁じられていて、違反すると罰せられます。
◎ 使用できるのは、日本国内に限られています。
◎ 本製品は、電波法施行規則第6条第4項第2号(13)で定める、人・動物検知通報システムであり、位置情報の取得および通報の機能が義務付けられている特定小電力無線局です。 無線局の免許や登録の申請、電波利用料は必要ありません。
◎ 野生動物の行動を監視する無線システムと同じ周波数を使用していますので、サル、シカ、クマ、イノシシなどの監視対象動物が出没するような場所では使用を控えてください。
◎ 登山者遭難救助用にも使われます。非常通信が聞こえたら通話を控えてください。

音声圧縮(符号化)方式について

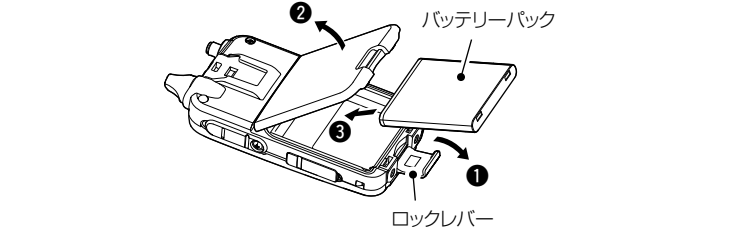
本製品の音声圧縮（符号化）方式は、アイコム株式会社が開発したTOKUDER方式を採用しています。TOKUDER方式以外の無線機とは通話できません。
※TOKUDER方式はアイコム株式会社の登録商標です。

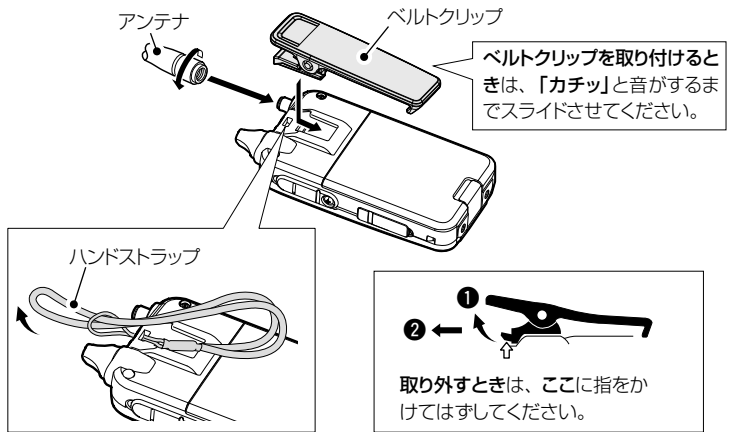
付属品

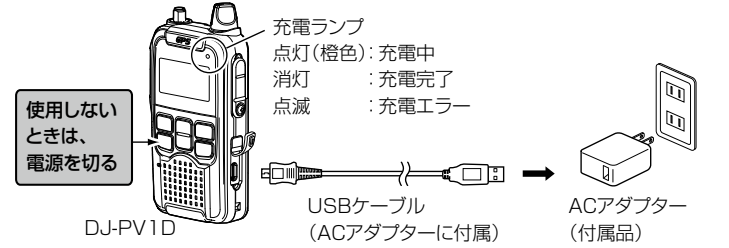
□アンテナ【EA0271】……………… 1
□ベルトクリップ【EBC-57】………… 1
□バッテリーパック【EBP-180】……… 1
□保証書
□ハンドストラップ………………………… 1
□ACアダプター【EDC-300】
（USBケーブル付）【EDS-32】…… 1
□ご使用になる前に(本書)
□DJ-PV1D用アンテナについて

※オプションアクセサリーは弊社HPのDJ-PV1D製品情報、または製品カタログをご覧ください。

■ バッテリーパックの取り付けと取りはずし

本製品の電源を切った状態で、図の手順(❶→❸)にしたがって取り付けてください。
※取り外すときは、本製品の電源を切ってから、同じ手順ではずしてください。

【ご注意】
しばらく使用しないときは、バッテリーパックを本製品から必ず取りはずしてください。
本製品の電源を切った状態でも、微量の待機電流が流れていますので、電池が消耗します。

■ アンテナ/ハンドストラップ/ベルトクリップの取り付け

■ 充電のしかた

お買い上げ直後や2ヵ月以上使わなかったときは、必ず充電してからお使いください。電源を入れたまま充電や運用ができますが、満充電までの時間は長くなります。

※充電ランプが点滅した場合は、充電エラーですので、ただちに充電をやめ、正しい温度範囲で充電しなおすか、新しいバッテリーパックに交換してください。

【ご注意】
◎ 充電するときは、必ず本製品に対応した充電器をご使用ください。
◎「安全のご注意」(表面)を併せてお読みになり、正しい方法で充電してください。
◎ 充電中の運用は電池の劣化を促進し、通話にノイズが入ることがあります。

■ 充電時間と運用時間の目安

充電時間　約4時間30分(空のバッテリーパックを満充電できる時間)
運用時間　約11時間 (バッテリーセーブON時)　約9時間 (バッテリーセーブOFF時)★
(送信1、受信1、待ち受け18の割合で繰り返し運用)
★バッテリーセーブの詳細な設定条件については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

【ご注意】
◎ 10℃～35℃以外の温度では充電できず、特に高温下での充電は危険です。
◎ ご使用になる充電器によって、充電時間が異なる場合があります。
◎ 上記以外の方法で充電した場合は製品保証の対象外となります。モバイルバッテリー、市販のUSB充電アダプターやパソコンのUSB端子などで充電して発生するいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
◎ バッテリーセーブを使うと、通話の頭部分が途切れる事があります。PTTを押して一呼吸置いてから話しはじめてください。

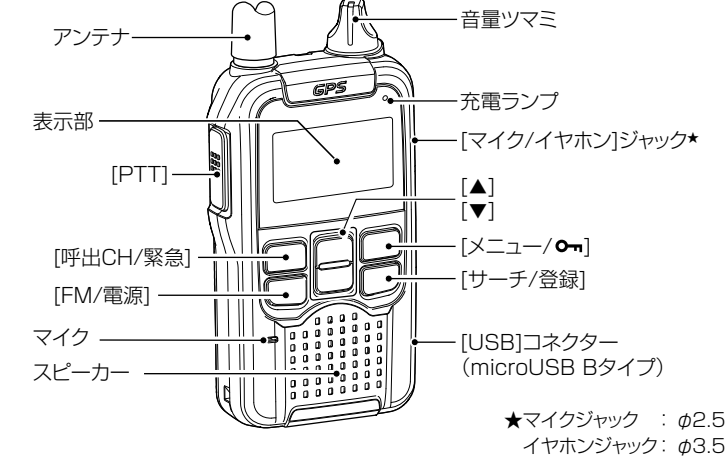
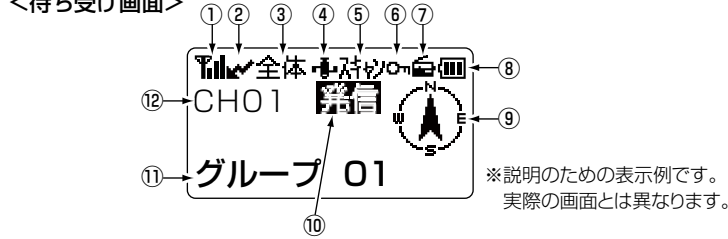
各部の名称

■ 前面部/側面部

★マイクジャック　：φ2.5
イヤホンジャック：φ3.5

■ 表示部

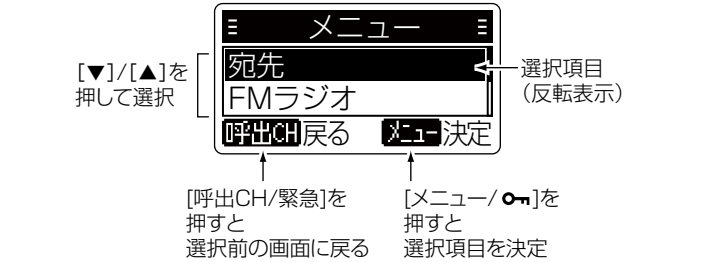
<待ち受け画面>

※説明のための表示例です。
実際の画面とは異なります。

①	受信している電波の強さ(目安)を4段階で表示(Sメータ表示ON時は除く) 無★ 弱 中 強　★ 待ち受け時や送信時、受信電波の強さが著しく弱いときの表示です。
②	送受信表示(受信時：[受信アイコン]、送信時：[送信アイコン])
③	呼出種別表示 全体：全体呼び出し、ｸﾞﾙｰﾌﾟ：グループ呼び出し、個人：個別呼び出し
④	GPS状態表示 [GPSアイコン]：位置情報取得、[GPSアイコン](点滅)：位置情報未取得、表示なし：GPSバッテリーセーブ中
⑤	呼び出しチャンネルスキャン機能設定時
⑥	ロック機能動作時
⑦	FMラジオ電源ON時
⑧	電池の残量(目安)を4段階で表示 [電池アイコン] 十分、[電池アイコン] 残量あり、[電池アイコン] 残量少(早めに充電)、[点滅] 残量なし(要充電) [稲妻アイコン]：USB給電時 ※バッテリーパック未装着時 [稲妻アイコン]：USB給電/充電時 ※バッテリーパック使用時/充電器(EDC-307R)使用時も表示 [×アイコン]：充電時での充電障害発生時
⑨	コンパス表示(相手のいる方向)※北向きを基準とした方角を表示
⑩	発信：送信時に点灯、着信：受信時に点滅 緊急：緊急呼び出し時に点滅、応答：緊急呼び出しで応答があると点灯
⑪	宛先表示　※UT-PV1Dで個人名やグループ名を設定している場合は、その名称が表示
⑫	通話チャンネル表示　※呼び出しCH設定時は、「呼出CH」が表示

<キー操作について>

本書中、「押す」は一度キーを押して、すぐに指をはなすことを指します。
「長く押す」「長押しする」は1秒程度押し続けることを指します。

<メニュー画面>

待ち受け画面で[メニュー/鍵]を押すと、メニュー画面になります。

項目選択操作の表記について
本書では、各メニューに表示される項目の選択操作を略表記で説明しています。
略表記　……………… 「宛先」を選択する
略表記の詳細説明　… [▼]/[▲]を押して「宛先」を選択し、[メニュー/鍵]を押す

基本操作について

1. 電源を入れる/切る

[FM/電源]を長く押すと、電源が入り、待ち受け状態になります。
同じ操作をすると、電源が切れます。
※ALINCOが表示されたあと、10ケタの機器ID(固有の番号)が表示されます。
機器IDは本製品のラベルにも記載されてます。

2. 音量を調整する

音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きく、反時計方向に回すと小さくなります。

3. 通話チャンネルをあわせる

[▼]/[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルにあわせます。
選択範囲：01～17、呼出CH

通話チャンネル表示

4. 呼び出しをする(送信する)

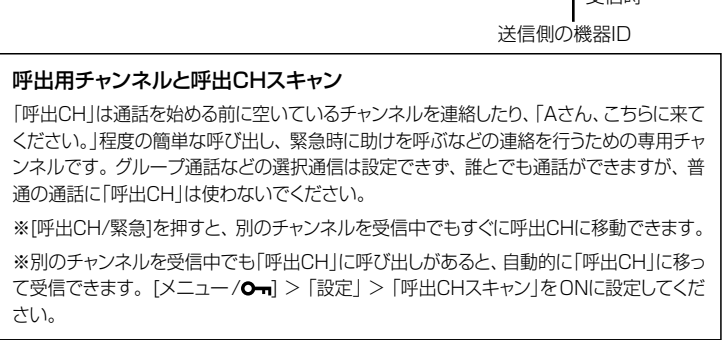
「[受信アイコン]」が表示されていないことを確認し、[PTT]を押して、マイクに向かって話します。通話中は「PTT」を押し続けるか、別売マイクのPTTロックを掛けます。送信中は「発信」が表示されます。
＊送信できなかったり、送信が自動で切れたりすることがあります。右記の「キャリアセンスとタイムアウトタイマー」をご覧ください。
＊口とマイクは5cm程度離してください。声が大きすぎたり小さすぎたりすると相手が受信する音質が悪くなります。
＊音楽やチャイムなどのメロディーは正しい音になりませんが、デジタル小電力コミュニティ無線の仕様で、異常ではありません。

送信時

5. 呼び出しを受ける(受信する)

信号を受信すると、「着信」が表示され、受信している電波の強さ(目安)を4段階で表示します。
※受信中は、呼出種別、「着信」、送信側の機器ID、宛先表示が点滅し、送信側との方向と距離が表示されます。
※応答するときは、「着信」が消えたことを確認してから、[PTT]を押します。

受信時
送信側の機器ID

呼出用チャンネルと呼出CHスキャン
「呼出CH」は通話を始める前に空いているチャンネルを連絡したり、「Aさん、こちらに来てください。」程度の簡単な呼び出し、緊急時に助けを呼ぶなどの連絡を行うための専用チャンネルです。グループ通話などの選択通信は設定できず、誰とでも通話ができますが、普通の通話に「呼出CH」は使わないでください。
※[呼出CH/緊急]を押すと、別のチャンネルを受信中でもすぐに呼出CHに移動できます。
※別のチャンネルを受信中でも「呼出CH」に呼び出しがあると、自動的に「呼出CH」に移って受信できます。[メニュー/鍵] ＞「設定」＞「呼出CHスキャン」をONに設定してください。

ロック機能 / 誤って設定が変わることを防ぐ、便利な機能です。
[メニュー/鍵]を長く押すと、「ピッ」と鳴って、「鍵」が点灯します。
※同じ操作をすると、ロック解除できます。
※[PTT]、音量ツマミ、[FM/電源](電源ON/OFF)は、ロック中でも使用できます。

グループ通話をするときは

同じチャンネルを使う別のグループの通話は聞こえず、同じグループ内だけで通話できます。
1.[▼]/[▲]を押して、グループ全員を同じ通話チャンネルに設定する。
2.[メニュー/鍵]を押して、メニュー画面に切り替え、「宛先」＞「グループ」を選択する。
3.[▼]/[▲]を押して全員に同じグループ番号を設定する。
・右図のようにグループと表示されます。別グループとは通話できなくなります。「全体」設定の無線機は全てのグループと通話ができます。

グループ設定時

リセット

【ご注意】
無線機管理者に無断でリセットしないでください。通話ができなくなるおそれがあります。登録したIDも全て消え、再入力しないと元に戻せなくなります。
設定内容が分からなくなったり、故障かと思うような動作をする時は初期化してください。メニュー＞設定＞リセット＞実行の順に操作してください。リセットされると電源が切れ、CH01で再起動します。
※ID登録方法は、弊社ホームページに掲載の取扱説明書、またはUT-PV1Dの取扱説明書(どちらもPDFマニュアル)でご確認ください。

通話範囲について

通話範囲の目安(送信出力：0.5W)
◎ 本製品は日本国内の河川、湖沼を含む陸上、海上、上空でお使いになれます。
市街地：約200～500m、郊外：約1～2km、見通しの良い場所：約3km
屋内：建物の構造や使用されている建材によって大きく変わります。
・山のような地形や、大きな建物などが障害物となって、通話しにくくなることがあります。
・山頂やビルの屋上など高く、開けた場所では思わぬ遠距離の信号の混信を受けることがあります。
・テレビやラジオなどの家電製品、パソコン、電話機などの近くで使用すると雑音が発生したり、誤動作したりすることがあります。なるべくはなれてご使用ください。

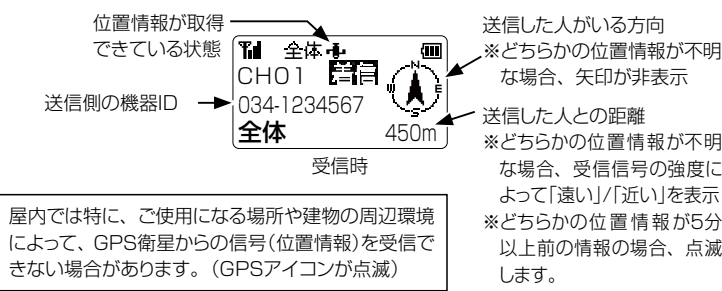
キャリアセンスとタイムアウトタイマー

ほかのユーザーとお互いに通信妨害を与え合わないよう、誰かが同じチャンネルで送信中は別のユーザーが送信できないキャリアセンスと、1回の送信は1分以内にするタイムアウトが電波法の規定で搭載されています。タイムアウトはタイマーが30秒前からカウントダウン表示され、10秒前にピ音で警告、1分になるとブブ音が鳴って送信停止します。別のユーザーが通話しなければ、2秒後に自動的に再送信が始まります。

位置情報表示の見かた

送信時に自分の位置情報を送れます。受信側では送信者との距離と方向が確認できます。
※送信側/受信側ともに位置情報を取得できている必要があります。

受信時

屋内では特に、ご使用になる場所や建物の周辺環境によって、GPS衛星からの信号(位置情報)を受信できない場合があります。(GPSアイコンが点滅)

相手の位置情報や周辺音声を受信するには

下記の操作をするには相手の機器IDを登録している必要があります。
登録のしかたは弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFマニュアル)をご覧ください。

■ 位置情報サーチ

通話をしなくても、GPSで相手の居場所を検索します。
※送信側/受信側ともに位置情報を取得できている必要があります。
1. [サーチ/登録]を押して、サーチメニュー画面に切り替える
2. 「位置情報サーチ」を選択する
3. 宛先を選択する
• サーチを開始し、「発信」が点滅します。
• 相手の無線機からの応答がない場合は、「応答なし」が表示されます。
応答があれば、相手の機器IDと方向と距離が表示されます。

「位置情報サーチ」選択時

■ 周囲音送信

相手の周辺音声を受信できます。緊急時など、相手が送信できない状態でも周囲の音声を受信することで、状況把握に活用できます。
※事前にIDを登録した相手の無線機の「周囲音送信」項目が「禁止しない」に設定されている必要があります。
1. [サーチ/登録]を押して、サーチメニュー画面に切り替える
2. 「周囲音送信」を選択する
3. 宛先を選択する
• 送信を開始し、「発信」が点滅します。
• 相手の無線機から周辺音声を10秒間送信します。
• 相手の無線機からの応答がない場合は、「応答なし」が表示されます。
応答中は、「着信」が点滅し、10秒間周囲音を受信します。

「周囲音送信」選択時

困ったときは

本製品の詳細な取り扱いについては、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFマニュアル)でご確認ください。

現象	原因	処置
電源が入らない	バッテリーパックの端子接触不良	端子を乾いた綿棒などで清掃する
	バッテリーパックの消耗	充電する
	バッテリーパックの過放電保護回路が動作している	バッテリーパックを十分に充電してから電源を入れる
送信できない	1分間の送信時間制限が過ぎている	2秒以上待ち、もう一度、送信する
	ほかの無線機が送信しているため、キャリアセンスが動作している	「[受信アイコン]」が消灯してから送信する